

施策5 持続可能なまちづくりに資する道路整備

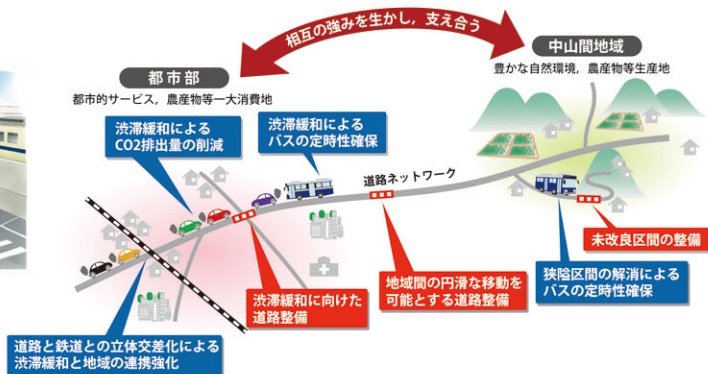
取組の方針

- 渋滞を緩和する道路の整備と市街地を一体化する鉄道との立体交差化
- 豊かな地域づくりを支える道路の整備

整備イメージ



連続立体交差化のイメージ



施策7 道路施設の適正な維持管理

取組の方針

- 道路施設の日常的な維持管理の適切な実施
- 道路施設の戦略的な維持管理の推進～インフラ老朽化対策の本格実施～

道路施設の戦略的な維持管理

日常的な維持管理情報
(維持管理データ)

- ・ 県民からの要望
- ・ 維持修繕履歴
- ・ 被災履歴
- ・ 各種施設台帳

道路維持管理システム (PDCAサイクルの構築)

様々な維持管理情報を一元的に管理・分析し、戦略的・効果的に維持管理を行います。

計画的な維持管理情報 (アセットマネジメントシステム)

- ・ 施設の諸元
- ・ 点検計画、点検結果
- ・ 補修計画、補修履歴

● 日常的な維持管理の適切な実施

道路の草刈りや除雪等を実施するとともに、日々の道路パトロール等により、穴ぼこ、倒木、落石等の異常を早期に把握し、適切な維持管理を実施します。



日々の道路パトロール
(発見した穴の舗装補修状況)



冬期交通の安全確保
(住民の生活を守る除雪作業)



地域でのアダプト活動
(地域共同での道路除草)

● アセットマネジメントによる計画的な維持管理の推進

橋梁、トンネル、舗装、法面について、アセットマネジメントにより、定期点検を実施し、適切な時期に修繕することで、ライフサイクルコストの低減を図り、計画的な維持管理を推進します。



橋梁の点検状況



施策6 道路機能の有効活用

取組の方針

- 小規模な改良による既存道路の有効活用
- スマートICの整備等による高速道路の有効活用
- しまなみを核としたサイクリングネットワークの形成とサイクリストの受入環境向上
- 道の駅を活用した地方創生の取組

既存道路をサイクリングロードとして活用

● 瀬戸内サイクリングロードのブルーライン等の整備

広島県では、(関係機関と連携し)瀬戸内サイクリングロード推奨ルート上の道路で、車道の路側に推奨ルートを明示するブルーラインと距離標の路面標示を行うなど、整備を進めてきました。平成25年度末までに4つのサイクリングロードにおいて整備が完了し、ネットワーク化されています。このことにより、サイクリングを行う方々に、より楽しく快適な走行を行っていただくことが可能となりました。また、フェリー等も合わせて利用することで、多様なサイクリングコースを楽しむことができます。

サイクリングロード名	場所	延長	整備内容
しまなみ海道	尾道市～今治市	L=約76km	ブルーライン(連続設置) 距離標(1kmごと)
とびしま海道	呉市～今治市	L=約31km	ブルーライン(連続設置) 距離標(1kmごと)
さざなみ海道	呉市～尾道市	L=約82km	ブルーライン(5kmごと) 距離標(5kmごと)
かきしま海道	呉市～江田島市	L=約70km	ブルーライン(連続設置) 距離標(1kmごと)



● やまなみ街道サイクリングロードが決定

尾道松江線に並行する国道54号、国道184号などの沿線地域の活性化への取り組みの一つとして、関係機関と連携し、尾道駅から松江しんじ湖温泉駅を結ぶルートを「やまなみ街道サイクリングロード(総延長:約187km、獲得標高:約1,900m)」として、その沿線に設定した周遊コース(10コース)を併せて決定しました。



【ブルーライン】

- ・ ノーマップで迷うことなく快適なサイクリング!
- ・ 左側通行が促され、安全なサイクリング環境の創出に寄与!

しまなみ海道自転車通行料金の無料化

平成26年7月19日から平成30年3月31日まで延長



県内各地でイベントの開催
(やまなみ街道サイクリングロード)